

平成 2 3 年 7 月
上 下 水 道 局
(担当 総務部総務課 672-7709)

上下水道事業の実施状況の公表について

1 趣旨

上下水道局では、平成20年度からの10年間に取り組むべき課題や目標を示した「京（みやこ）の水ビジョン」をはじめとする経営戦略の下、上下水道事業の着実な推進を図っております。

その一環として、毎年度、京の水ビジョンに掲げる5つの施策目標の実現に向けた単年度の具体的な事業計画や目標水準を取りまとめた「上下水道局事業推進方針」を策定、公表し、定期的にその実施状況を公表することにより、責任執行体制の強化を図るとともに、市民の皆さまへの説明責任を果たしてまいりたいと考えております。

2 公表内容

この度、平成22年度「上下水道局事業推進方針」に掲げております全ての取組項目について、実施状況を取りまとめましたので公表いたします。(別紙参照)

I-1 蛇口を通じた安全・安心な水道水の供給

蛇口を通じて安全・安心な水道水を、安定して効率的に供給します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 水源から蛇口までの水質管理の強化	水質第1課 水道部管理課 水道部施設課 各浄水場 配水課 水道管路管理センター 北部配水管理課 洛西配水場	・水安全計画策定に向けた調査等の実施 ・水質管理目標値の適切な運用 ・水質検査の継続的な実施	・作業部会開催 ・蹴上浄水場水安全計画の策定 ・水質管理目標値の達成確認 ・全項目試験等の検査の実施(毎週、毎月)
② 漏水の減少と有収率の向上	水道部管理課 給水課 配水課 水道管路管理センター 水道管路建設事務所	・配水管布設替工事の継続的な実施 ・鉛製給水管取替工事の継続的な実施	・配水管布設替工事を継続実施 ・布設替工事完了延長 12.4km ・取替工事 17,619件 ・有収率 86.1%
③ 原水水質監視の強化	水質第1課 水道部管理課 水道部施設課 各浄水場 疏水事務所	・原水水質自動監視装置の適切な維持管理と拡充検討 ・琵琶湖水質の定期的な調査の継続的な実施	・定期点検の実施(毎週) ・文献収集の継続的な実施 ・他都市調査の実施 ・定期調査12回実施(月1回)
④ 適正な浄水処理の推進			
原水pH調整施設の整備	水道部管理課 水道部施設課 新山科浄水場 水質第1課	・原水pH調整施設設備工事の継続的な実施(新山科浄水場) ・粉末活性炭注入施設改良の設計委託及び工事の実施	・工事完了 ・設計完了
配水水質監視装置の拡充	水質第1課 水道部管理課 配水課 水道管路管理センター 北部配水管理課 洛西配水場 水道部施設課	・配水水質監視装置の拡充に向けての継続的な検討の実施	・拡充計画の策定に向けての基礎データを収集 ・関係機関等との協議を実施 ・通信設備更新(案)を策定
⑤ 直結式給水の拡大	給水課 配水課	・貯水槽水道管理者への戸別訪問の実施による啓発	・直結式給水の増加件数 251件
⑥ 水道未普及地域等の解消と京北地域水道・大原簡易水道の再整備			
水道未普及箇所等の解消に向けた取組	水道部管理課	・給水区域内の水道未普及箇所解消に向けた継続的な取組	・現地調査完了
京北地域水道(弓削、黒田、細野、京北中部)の再整備	地域事業課	・京北地域水道(弓削、黒田、細野、京北中部)の再整備の継続的な実施	・弓削、黒田の再整備工事の継続実施 ・事前評価第三者委員会(細野、京北中部)の実施 ・認可設計の完了及び事業変更認可の取得(細野、京北中部) ・実施設計の着手(細野、京北中部)
大原簡易水道の再整備	地域事業課	・大原簡易水道の再整備の継続的な実施	・実施設計完了 ・再整備工事に着手(第1配水池築造工事、配水管布設工事)

I-2 異臭味問題解消のための高度浄水処理施設の整備

水道水の異臭味を解消し水質基準を遵守するために、高度浄水処理施設を段階的に整備します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 高度浄水処理施設の整備	水道部施設課 水道部管理課 蹴上浄水場 水質第1課	・蹴上浄水場の整備	・粒状活性炭吸着池築造工事の詳細設計を完了
② 原水水質監視の強化(I-1-③再掲)			
③ 適正な浄水処理の推進(I-1-④再掲)			
④ 浄水処理技術等の調査・研究・開発	水質第1課 水道部管理課 水道部施設課	・流域関係者や研究機関等との定期的な情報交換の継続的な実施 ・琵琶湖水質の定期的な調査の継続的な実施(I-1-③再掲)	・滋賀県と情報交換会を実施 ・大津市との技術協議会を実施 ・関西水道水質協議会に参加 ・関西水道水質協議会水道衛生技術研究会に参加 ・定期調査12回実施(月1回)(I-1-③再掲)

I-3 水質への不安払拭のための鉛製給水管の解消

平成20～29年度の10年間で、道路部分の鉛製給水管をすべて解消します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 鉛製給水管の単独取替えの拡大	給水課	・鉛製給水管の単独取替工事の拡大	・鉛製給水管単独取替工事による道路部分の鉛製給水管解消件数 12,124件/年 ・道路部分の鉛製給水管の割合 24.3%
② 補助配水管や配水管の布設替え等に関連した取替えの推進(再掲)	給水課 配水課 水道管路管理センター 水道管路建設事務所	・補助配水管や配水管の布設替え等に関連した取替工事の継続的な実施	・補助配水管や配水管の布設替え等に関連した道路部分の鉛製給水管解消件数 5,495件/年 ・道路部分の鉛製給水管の割合 24.3% (1-3-①再掲)
③ 鉛製給水管取替助成金制度の利用促進	給水課	・助成金制度の継続的な実施、個別訪問の充実による利用促進	・助成件数 80件 ・戸別訪問、はがきの発送、アンケートによる実態調査の実施

I-4 雨に強く安心できる浸水対策の推進

浸水が起こりやすい箇所を速やかに解消し、10年に一度の大雨(1時間に62mm)に対する安全度を確保します。
地下施設の浸水等による人命や都市機能の重大な被害を防ぎ、ハード・ソフト両面で雨に強いまちづくりを着実に進めます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 浸水箇所の解消	下水道部管理課 下水道建設事務所 計画課 設計課 各下水道管路管理センター	・浸水箇所における対策検討の継続的な実施 ・未来まちづくりプラン融合モデル「雨に強いまちづくり」の推進 ・岩倉西部地区における対策の実施	・浸水安全度の評価を実施(山科地区全体) ・地区別の検討会を実施 ・テーマ別の検討会・研究会を実施 ・長代川1号準幹線(雨水)(1)工事継続実施 ・雨水整備率(10年確率降雨対応) 17.4%
② 河川整備等と連携した総合治水対策の推進	下水道建設事務所 計画課 設計課	・京都市河川整備事業との連携事業の実施 ・京都府桂川右岸流域雨水事業との連携事業の実施	・久世高田調整池築造工事継続実施 ・久世高田調整池雨水排水監視設備工事実施 ・呑龍幹線への分水施設の実設計委託に向けた作業を実施 ・雨水整備率(10年確率降雨対応) 17.4% (I-4-①再掲)
③ 地下街等の総合的な浸水対策	下水道建設事務所 計画課 設計課	・下水道総合浸水対策緊急事業の実施	・御池1号接続支線(1)工事完了 ・塩小路幹線実施設計委託完了 ・雨水整備率(10年確率降雨対応) 17.4% (I-4-①再掲)
④ 雨水流出抑制の推進	下水道部管理課 設計課 下水道建設事務所	・浸透側溝設置の継続的な実施(有栖川流域) ・アンケート結果を踏まえ改正した雨水貯留施設設置助成金制度を実施、利用促進	・西高瀬川第3排水区雨水整備(5)工事完了 ・西高瀬川第3排水区雨水整備(6)工事継続実施 ・雨水貯留施設設置助成金制度を改正 ・助成件数 156件

I-5 地震等の災害に強い上下水道施設の整備

地震等の災害に強い上下水道施設を整備するとともに、災害リスクを分散し、被災しても被害が少なく、早期に復旧が可能な水道・下水道を構築します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 導水施設の2系統化・補強	水道部管理課 水道部施設課 新山科浄水場 疏水事務所	・新山科導水きよの改良工事の継続的な実施 ・新山科第2導水トンネル築造のための測量及び調査の実施	・工事完了 ・測量及び調査の継続実施
② 連絡幹線の布設	配水課 水道管路建設事務所	・吉田連絡幹線の継続的な実施 ・葛野連絡幹線の布設 ・御陵連絡幹線(I期)の布設	・吉田連絡幹線 継続実施 ・葛野連絡幹線 工事完了 ・御陵連絡幹線(I期) 工事完了
③ 水道システムの耐震性向上			
浄水場等基幹施設の耐震化	水道部管理課 配水課 洛西配水場 水道部施設課	・新山科浄水場緊急遮断弁設置工事継続実施 ・貯水槽等耐震補強(八瀬貯水槽)	・工事完了 ・工事完了
水道管路の耐震化	水道部管理課 給水課 配水課 水道管路建設事務所	・幹線及び支線管路の耐震化工事の継続的な実施	・管路の耐震化工事 実施延長 18.7km ・補助配水管耐震化工事 実施延長 9.7km ・水道管路の耐震化率 8.0%

④ 下水経年管路の耐震性向上	下水道建設事務所 設計課 計画課	・経年管対策の継続的な実施(下水道地震対策緊急整備事業を含む)	・管路内調査 21km完了 ・経年管対策工事(29)～(32) 完了 ・経年管対策工事(33)～(36) 継続実施 ・経年管対策率(下水道) 79.3%
⑤ 重要管路や基幹施設の耐震性向上	下水道建設事務所 設計課 計画課	・重要管路の耐震化 ・基幹施設の耐震化	・地震対策工事(1)(2) 完了 ・地震対策工事(3)(4) 継続実施 ・地震対策工事(5) 実施 ・鳥羽E-1系次亜塩消毒棟上屋耐震改築工事完了 ・石田塩素混和池上屋改築工事完了 ・施設(建築)の耐震化率(下水道) 74.2%
⑥ 下水道システムの強化	下水道建設事務所 設計課 計画課	・電気設備の地上化等の推進 ・幹線のネットワーク化に向けた整備	・鳥羽水環境保全センターH系最終沈殿池電気設備工事完了 ・鳥羽水環境保全センターI系最初沈殿池電気設備工事完了 ・吉祥院水環境保全センターA系最終沈殿池設備工事完了 ・吉祥院水環境保全センターA系最終沈殿池設備工事(2) 継続実施 ・伏見水環境保全センター合流系最終沈殿池電気設備工事完了 ・七条西・東、河原町分流等工事継続実施 ・電気設備の地上化率(下水道) 88.0%

I-6 災害・事故等危機時における迅速な対応

あらゆる危機においても迅速に対応できるよう、危機管理対策を強化します。
資器材・防災センター、本庁各課、各事業所の役割分担により、災害対策拠点、作業拠点を充実します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 危機管理対策の強化			
危機発生時の体制整備	総務課 資器材・防災センター 水道部管理課	・危機管理マニュアルの整備、点検 ・資器材・防災センター、本庁各課及び各事業所の役割分担の明確化による 災害対策拠点、作業拠点を充実 ・応急給水訓練の継続的な実施	・改訂後の「京都市上下水道局危機管理計画」を局イントラHPに掲載 ・新型インフルエンザ対応に係る事業継続計画を更新 ・各所属でマニュアルを更新 ・京都市総合防災訓練で応急給水訓練を実施及びその予行演習を実施 ・応急貯水槽を用いた応急給水訓練を4箇所実施
浄水場や配水施設等への監視カメラの設置	水道部管理課 水道部施設課 各浄水場	・各浄水場の監視カメラの増設及び改良	・工事完了
② 応急給水用資器材等の充実	資器材・防災センター 総務課	・防災資器材及び備蓄消耗品等の見直し並びに充実、作業拠点等の整備	・防災資器材及び備蓄消耗品等の購入完了 ・資器材等備蓄品の見直しを検討
③ 水道・下水道の水質の安全管理の充実			
水質の安全管理(水道)	水質第1課	・原水水質自動監視装置の適切な維持管理と拡充検討 (I-1-③再掲) ・未規制物質等の検査体制の充実	・定期点検の実施(毎週) ・文献収集の継続的な実施 ・他都市調査の実施 (I-1-③再掲) ・継続的な情報収集の実施 ・定期調査12回実施(月1回)
水質の安全管理(上下水道)	水質第1課 水質第2課	・琵琶湖・淀川水系水質情報の収集 ・監視、分析等の検討、実施、改善 ・淀川水系水質情報の収集	・滋賀県、大津市からの水質情報の収集を実施 ・滋賀県と情報交換会実施 ・大津市との技術協議会実施 (I-2-④再掲) ・水質管理マニュアルの改訂を継続 ・危機管理訓練の実施 ・淀川水質汚濁防止連絡協議会河川水質機構調査小委員会への参加(2回)とメールによる情報交換(4回)

II-1 市内河川と下流水域の水環境を守る下水の高度処理の推進

閉鎖性水域である大阪湾・瀬戸内海の富栄養化を防止するためには、窒素除去が急務であることから、窒素除去に重点をおいた下水の高度処理を、処理施設の更新時期に併せて段階的に推進します。
ISO14001の取組として窒素・リンの処理水質目標値を設定し、処理水質の向上を図ります。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 下水の高度処理施設の段階的な整備	計画課 設計課 下水道建設事務所 下水道部施設課	・高度処理基本計画の見直し ・高度処理施設の整備	・高度処理基本計画の見直しを実施 ・鳥羽水環境保全センターB系高度処理築造工事完了 ・鳥羽水環境保全センターB系高度処理施設築造(2)工事継続実施 ・伏見水環境保全センター1期(1/2)高度処理施設工事完了 ・高度処理人口普及率 47.9% ・窒素高度処理率 16.1%
② 良好な処理水質の確保	水質第2課 下水道部施設課 各水環境保全センター	・水質管理マニュアルに基づく適切な運転管理 ・処理水質目標値や水質管理マニュアルの見直し	・管理基準値不適合31件の対策について文書化 ・水質目標値の見直し実施 ・水質管理マニュアルの改訂を継続
③ 微量化学物質や病原性微生物等の調査・研究	水質第1課 水質第2課 計画課 下水道部施設課	・未規制物質等の検査体制の充実(I-6-③再掲) ・微量化学物質の実態調査	・継続的な情報収集の実施 ・定期調査12回実施(月1回)(I-6-③再掲) ・有機フッ素化合物の分析方法を確立

II-2 雨の日も水環境を守る合流式下水道の改善

雨天時に合流式下水道から流出する未処理下水やゴミ等を削減する改善対策を、目標年度※(平成35年度)を見据え、積極的に推進します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 貯留幹線の整備	下水道建設事務所 計画課 設計課 下水道部管理課	・各雨水吐の越流回数のご具体検討 ・東山地域での貯留幹線整備の継続的な実施 ・西部山ノ内地域、伏見大手筋地域等での貯留幹線整備の継続的な実施 ・七条系統、河原町系統等での貯留幹線整備の継続的な実施	・各雨水吐の越流回数のご具体検討を実施 ・九条分水室・放流渠工事完了 ・東大路幹線関連接続人工工事実施 ・大手筋幹線、大手筋南幹線(1)完了 ・大手筋南幹線(2)工事継続実施 ・西部2号分流幹線工事継続実施 ・七条系統工事継続実施 ・河原町系統工事継続実施 ・合流式下水道改善率 38.9%
② 雨天時下水処理の改善	計画課 下水道部施設課 設計課	・各雨水吐の越流回数のご具体検討(II-2-①再掲) ・雨天時下水処理施設の検討	・各雨水吐の越流回数のご具体検討を実施(II-2-①再掲) ・水処理施設の一部を合流改善施設へ転用に向けた検討を実施 ・合流式下水道改善率 38.9%(II-2-①再掲)
	水質第2課	・雨天時水質調査の継続的な実施とその結果に基づく改善確認	・雨天時水質調査、結果に基づく改善を確認
③ 雨水吐口からのゴミ等の流出削減	下水道建設事務所 計画課 設計課 下水道部管理課 各下水道管路管理センター	・各雨水吐の越流回数のご具体検討(II-2-①再掲)	・各雨水吐の越流回数のご具体検討を実施(II-2-①再掲) ・雨水吐改善率 24.3%
④ 河川事業と連携した水辺環境の保全・再生	下水道建設事務所 計画課 設計課 下水道部管理課 きた下水道管路管理センター	・西高瀬川清流ルネッサンスIIの推進	・朱雀北幹線(1)工事継続実施

II-3 市民のくらしと水環境を守る下水道整備の拡大

計画区域内の未整備箇所や北部地域など必要な下水道整備を推進します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 北部地域の汚水整備の推進	地域事業課	・大原・静原・鞍馬・高雄地区での実施設計の実施 ・大原・静原・鞍馬・高雄地区での整備工事の実施	・平成22年度工事の早期発注完了 ・平成23年度発注工事に係る実施設計完了 ・整備工事実施
② 未整備箇所の汚水整備の推進	下水道建設事務所 設計課	・岩倉地区、桂川右岸地区、伏見西部地区の区画整理事業地内等の継続的な実施	・岩倉(58)工事完了 ・岩倉(59)工事実施 ・下水道人口普及率 99.2%
③ 未接続の解消に向けた普及勧奨の推進			
京北特定環境保全公共下水道事業	地域事業課京北分室	・戸別訪問指導や啓発ビラの配布等による普及勧奨の推進 ・未接続理由を書面により確認	・個別訪問による実情調査(未接続理由の確認を含む。)及び接続勧奨の実施
公共下水道事業	下水道部管理課	・戸別訪問指導や啓発ビラの配布等による普及勧奨の推進 ・未接続理由を書面により確認	・対象家屋全件について訪問し普及勧奨を実施 ・未接続理由を書面により確認 ・上下水道局改進黨務違反行政措置審査会において審査を実施 ・審査結果の取りまとめを実施

II-4 環境保全の取組の推進

環境マネジメントの継続的な取組により、省エネルギー対策、未利用エネルギーや資源の有効活用を一層図り、京都議定書誕生の地として、地球温暖化対策に積極的な役割を果たします。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 環境マネジメントシステムの構築と継続的運用	総務課 水道部施設課 下水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎における京都市独自の環境マネジメントシステム(KYOMS)の継続した取組の実施 本庁舎ゼロ・エミッションの継続的な取組 浄水場ISO14001の継続的な取組 水環境保全センターにおける環境マネジメントシステムの継続的運用 	<ul style="list-style-type: none"> 本庁舎における京都市独自の環境マネジメントシステム(KYOMS)の取組の継続実施 本庁舎ゼロ・エミッションの取組の継続実施 継続的な取組を実施 ・浄水場全体の電力使用量 平成18年度比 5.4%削減 放流水質平均値BOD5.1mg/L以下を維持 水環境保全センター全体の電力使用量19年度比 7.24%削減
② 省エネルギー等の推進による温室効果ガスの削減			
温室効果ガスの排出削減	水道部施設課 各浄水場	<ul style="list-style-type: none"> 省エネタイプの機器採用、使用電力の削減 浄水場における総電力使用量の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 松ヶ崎浄水場ちんでん池関連設備取替改良工事を継続実施 松ヶ崎浄水場高区送水ポンプ設備取替工事を継続実施 山ノ内ポンプ場整備工事を継続実施 浄水場全体の電力使用量 平成18年度比 5.4%削減 (II-4-①再掲)
	下水道建設事務所 下水道施設課 設計課 各水環境保全センター	<ul style="list-style-type: none"> 省エネタイプの機器採用、使用電力の削減 水環境保全センターにおける総電力使用量の削減 汚泥の高温焼却運転の取組 	<ul style="list-style-type: none"> 鳥羽水環境保全センターH系最終沈殿池設備工事完了 伏見水環境保全センター合流系反応タンク機械設備及び電気設備工事完了 伏見水環境保全センター合流系最終沈殿池機械設備工事完了 吉祥院水環境保全センターA系最終沈殿池設備工事完了 吉祥院水環境保全センターA系最終沈殿池設備(2)工事継続実施 水環境保全センター全体の電力使用量19年度比 7.24%削減 (II-4-①再掲) 流動炉の高温焼却運転を継続実施
太陽光発電設備の設置等による未利用エネルギーの有効活用	水道部管理課 水道部施設課 各浄水場	<ul style="list-style-type: none"> 蹴上浄水場、松ヶ崎浄水場、新山科浄水場太陽光発電設備の運用 	<ul style="list-style-type: none"> 蹴上浄水場、松ヶ崎浄水場、新山科浄水場太陽光発電設備の継続運用 再生可能エネルギー利用率(水道) 0.124%※太陽光発電量71,076kWh
③ 資源循環の推進と施設空間の有効利用	下水道施設課 計画課 設計課 鳥羽水環境保全センター 石田水環境保全センター	<ul style="list-style-type: none"> バイオマス有効活用の継続的な検討 汚泥焼却灰の有効利用に関する情報収集 建設副産物や下水高度処理水の有効利用 未来まちづくりプラン融合モデル「資源の再利用化の促進」の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 汚泥処理施設の改築更新と組み合わせたバイオマス施設の検討を実施 有効利用に関する継続的な調査を実施 鳥羽水環境保全センターせせらぎ水路の高度処理水の継続利用 溶融スラグ(500t)を売却
④ 京都のまちの景観に配慮した施設の整備	水道部管理課 水道部施設課 配水課	<ul style="list-style-type: none"> 風致地区等での景観配慮の継続的な実施(蹴上浄水場) 	<ul style="list-style-type: none"> 低区配水池改良工事完了 蹴上浄水場1・2号ちんでん池工事継続実施
⑤ 環境報告書の作成・公表	監理課 水道部施設課 下水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業一体の環境報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 上下水道事業一体の環境報告書の発行
⑥ 流域の水環境や水処理に関する情報収集・調査・研究	水道部管理課 水道部施設課	<ul style="list-style-type: none"> 大津市、滋賀県との情報交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 滋賀県との情報交換会を実施 大津市との技術協議会を実施 (I-2-④再掲)
	水質第1課 水質第2課	<ul style="list-style-type: none"> 淀川水質汚濁防止連絡協議会における活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 淀川水質汚濁防止連絡協議会琵琶湖淀川生物障害等調査小委員会への参加 淀川水質汚濁防止連絡協議会河川水質機構調査小委員会への参加(2回)とメールによる情報交換(4回)を実施 (I-6-③再掲)
	水質第2課	<ul style="list-style-type: none"> 水環境の保全に係る調査、研究の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 調査研究の継続とレポート作成 課内調査研究発表会の実施 日本下水道協会主催の下水道研究発表会において発表
	計画課	<ul style="list-style-type: none"> 大阪湾再生推進会議における活動の継続 	<ul style="list-style-type: none"> 下水の高度処理の推進及び合流式下水道の改善等による放流負荷削減対策を実施 「大阪湾の企画展」への高度処理の推進に係るパネルの提供(事業PR)

Ⅲ-1 水需要に応じた施設規模の適正化及び施設の再編

山ノ内浄水場を廃止して、現状の4浄水場体制から3浄水場体制とすることにより、浄水場の施設規模を水需要に応じたものに適正化します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 浄水場の施設規模の適正化	水道部管理課 水道部施設課 蹴上・山ノ内浄水場 配水課 洛西配水場	・山ノ内ポンプ場整備準備工事及び整備工事の継続実施 ・蹴上浄水場1・2号ちんでん池築造工事の継続実施	・準備工事完了、整備工事継続実施 ・工事を継続実施
② 給水区域の再編	水道部管理課 各浄水場 配水課 水道管路管理センター 水道管路建設事務所	・給水区域再編成計画に伴う実施計画の策定	・実施計画の策定
③ 水環境保全センターの施設規模の適正化	計画課 設計課 下水道部施設課	・雨天時下水処理施設の検討(Ⅱ-2-②再掲)	・水処理施設の一部を合流改善施設へ転用に向けた検討を実施(Ⅱ-2-②再掲)
④ 鳥羽・吉祥院処理区の統合	下水道部施設課 計画課 設計課	・統合に向けた関連施設設計書の検討	・処理区統合に向けた施設整備方針の検討を実施
⑤ 下水汚泥処理施設の集約化	下水道建設事務所 設計課 下水道部施設課 鳥羽・伏見・石田各水環境保全センター	・石田・伏見水環境保全センターから鳥羽水環境保全センターへの汚泥圧送施設設備の継続的な実施	・鳥羽石田連絡汚泥圧送管(1)(3)(4)(6)(7)工事継続実施 ・鳥羽石田連絡汚泥圧送管(2)(5)工事完了 ・鳥羽伏見連絡汚泥圧送管(1)(2)工事継続実施 ・大手筋南幹線(2)工事継続実施 ・鳥羽汚泥圧送管工事完了 ・石田汚泥圧送管工事継続実施 ・鳥羽受泥槽設備工事継続実施 ・伏見汚泥圧送設備工事継続実施 ・石田汚泥圧送設備工事継続実施
⑥ 下水ポンプ場管理基地の再編	下水道建設事務所 設計課 下水道部管理課 ポンプ施設事務所	・マニュアルに従った維持管理の継続	・マニュアルに従った適正かつ効率的な運転管理を継続実施

Ⅲ-2 基幹施設の機能維持・向上のための改築更新

計画的かつ効率的に改築更新を行い、非常時を含め、一日たりとも休むことができない水道・下水道の機能を維持・向上させます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 浄水施設等の改築更新	水道部管理課 水道部施設課 各浄水場 疏水事務所	・松ヶ崎浄水場送水ポンプの取替工事の実施 ・松ヶ崎浄水場フロキュレータ設備取替工事の実施 ・蹴上浄水場低区配水池改良(2)工事の実施	・工事継続実施 ・工事継続実施 ・工事完了
② 水環境保全センター及びポンプ場の改築更新	設計課 下水道建設事務所 ポンプ施設事務所 下水道部管理課 下水道部施設課 各水環境保全センター	・鳥羽・吉祥院・伏見・石田水環境保全センター、各ポンプ場の改築更新の継続的な実施	・鳥羽・吉祥院・伏見・石田水環境保全センター、各ポンプ場の改築更新工事18件(継続実施分) 工事完了 ・鳥羽・吉祥院・伏見・石田水環境保全センター、各ポンプ場の改築更新工事(26件)のうち工事完了 7件、継続実施 19件
③ 効率的な改築更新手法の検討	下水道部管理課 設計課 計画課 下水道部施設課	・アセットマネジメントの研究の継続実施	・下水道長寿命化計画(鳥羽水環境保全センター 階段炉関連)策定完了
④ 京北地域水道・大原簡易水道の再整備(Ⅰ-1-⑥再掲)			

Ⅲ-3 道路の下でくらしを支える管路施設の改築更

計画的かつ効率的に改築更新を行い、非常時を含め、一日たりとも休むことができない水道・下水道の機能を維持・向上させるとともに、漏水や道路陥没事故を防ぎます。
 水道管路については、強度の劣る铸铁管を、高機能ダクタイル鉄管への早期取替えを行います。
 下水道管路については、耐用年数を超えた経年管路のうち、戦前に布設した管路から重点的に対策を実施していきます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 配水管の計画的な更新	水道部管理課 給水課 配水課 水道管路建設事務所	・幹線及び支線管路の耐震化工事の継続的な実施 (I-5-③再掲)	・管路の耐震化工事 実施延長 18.7km ・補助配水管耐震化工事 実施延長 9.7km ・水道管路の耐震化率 8.0% (I-5-③再掲)
② 下水道管路施設の計画的な点検・改築更新	下水道部管理課 下水道建設事務所 設計課 計画課 各下水道管路管理センター	・緊急輸送道路下の緊急点検の継続的な実施 (布設後30年経過) ・経年管対策の継続的な実施 (I-5-④再掲)	・管路内調査完了 8.3km ・緊急点検達成率 86.0% ・管路内調査 2.1km完了 ・経年管対策工事(29)～(32)完了 ・経年管対策工事(33)～(36)継続実施 ・地震対策工事(1)(2)完了 ・地震対策工事(3)(4)継続実施 ・地震対策工事(5)実施 ・経年管対策率(下水道) 79.3% (I-5-④再掲)
③ 浸入水の削減	下水道部管理課 みなみ下水道管路管理センター 下水道部施設課 石田水環境保全センター	・山科処理区における浸入水対策の実施	・浸入水調査完了 ・対策工事完了(更生工法)
④ 効率的な改築更新手法の検討(Ⅲ-2-③再掲)			

IV-1 お客さまが利用しやすい仕組みづくり

生活時間が多様化するお客さまニーズに的確に対応するため、夜間・休日を含めた受付方法の充実を図るなど、より一層お客さまが利用しやすいサービスの推進に努めます。
 高度化するお客さまニーズにも対応した、より高水準なサービスを展開するための仕組みづくりを進めます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① お客さまの利便性の向上	お客さまサービス推進室、各営業所、総務課	・電話、ファクシミリ、インターネットによる給水申込等受付の実施 ・予納金に係る未還付者対応の実施	・電話、ファクシミリ、インターネットによる給水申込受付の継続実施 受付件数 32,180件 ・予納金に係る未還付者対応の実施 予納金還付件数率 99.93% 予納金還付金額率 99.94%
② お客さまが利用しやすい窓口づくり			
お客さま窓口サービスの更なる向上	お客さまサービス推進室、各営業所	・お客さまサービスに繋がる窓口環境整備等の実施	・営業所等における窓口への「耳マーク」の設置 ・手話講座の実施 ・お客さま対応研修として「福祉行政研修」を実施 ・FMプロジェクトによる「コミュニケーションボード」の作製
営業所の建て替え	総務課 監理課、お客さまサービス推進室	・設計委託の発注、業者決定	・建替計画の見直し
③ 高水準なお客さまサービスの提供	お客さまサービス推進室、総務課	・新料金システムを活用したお客さまサービスの実施	・お客さま情報のデータベース化を含む新料金システムの開発及び運用開始
④ お客さまへの情報提供の充実			
上下水道に関する情報検索システムの構築	総務課	・ホームページの随時更新	・ホームページの随時更新
管路情報管理システムのデータ更新と機能拡充	水道部管理課、配水課	・データ更新と水理解析運用	・データ更新の継続的な実施 ・浄水場施設等の竣工図をCADデータ化(松ヶ崎浄水場)

IV-2 積極的に行動するサービスの充実

お客さまが来所いただくのを待ち受けるのではなく、必要に応じてお客さまのところに訪問する「積極的に行動するサービス」への展開を図ります。
 多様化・高度化するお客さまニーズを迅速かつ的確に把握し、お客さまに信頼される事業を展開することにより、時代の要請に応じたサービスの提供に努めます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 休日における開閉栓業務の実施	お客さまサービス推進室、各営業所	・休日における開閉栓業務の実施	・休日における開閉栓業務を継続実施 出動件数 3,436件
② 出前トークや環境教育の充実	総務課	・出前トークの活用促進	・子ども向け出前トークのテーマ設定
	総務課、各浄水場、各水環境保全センター	・環境教育の充実	・クリアホルダーを各小学校に配布 ・夏休み親子教室を実施 ・施設見学の随時受入実施 ・各水環境保全センターについては、要望により受入れ(32組、561人)
③ お客さま訪問サービスの実施	お客さまサービス推進室、各営業所	・お客さま訪問サービスの継続実施	・お客さま訪問サービスの継続実施 開栓時の「水道便利袋」お渡しサービス 28,984件 漏水物語の配達サービス 1,087ケース
	下水道部管理課	・戸別訪問指導や啓発ピラの配布等による普及勧奨の推進(Ⅱ-3-③再掲)	・対象家屋全件について訪問し普及勧奨を実施(Ⅱ-3-③再掲)
④ 貯水槽水道の管理への助言・指導の充実	給水課	・戸別訪問の継続実施	・戸別訪問 502件

IV-3 広報・広聴の充実と積極的な情報開示による事業の透明性の確保

事業の透明性を高め、お客さまとの信頼関係の維持・向上を図るため、より一層広報・広聴機能の充実を図るとともに、さまざまな手法や機会を活用した積極的な情報開示を進めます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 広報計画の策定・段階的な充実	総務課	・広報計画の策定	・22年度広報計画を策定
② 積極的な情報発信と分かりやすい情報開示等による広報機能の充実	総務課	・広報紙の作成 ・ホームページの随時更新 ・地下鉄広告やイベント等での上下水道事業のPR	・広報紙(京の水だより)を発行(市民しんぶん折込版) ・ホームページの随時更新 ・ホームページアクセス件数 354,168件 ・京都市営地下鉄にフロアシート、アドコラム、指詰め、横枠広告を掲出
③ 広報関連イベントの展開	総務課	・施設内の植栽の開花時期を踏まえた一般公開やイベントの継続的な実施	・一般公開(蹴上・鳥羽)の開催
④ お客さまの声を反映するための広聴機能の充実	総務課 お客さまサービス推進室	・一般公開時等におけるアンケート実施 ・お客さまニーズを把握するための「水に関するアンケート(仮称)」の実施	・蹴上浄水場及び鳥羽水環境保全センターにおけるアンケートの実施及び結果の分析 ・区民ふれあいまつりにおけるアンケートの実施及び結果の分析 ・「平成22年度水に関する意識調査」の実施及び調査結果の分析 調査票配布数5,000件、回収数2,096件(41.9%)
⑤ 水道創設100周年記念事業の展開	総務課 水道部管理課 下水道部管理課	・下水道事業開始80周年記念事業の実施 ・水道創設100周年事業の検討 ・琵琶湖疏水記念館の展示の充実	・下水道事業80周年ロゴマークを作成 ・昔の下水道工事等のパネルを展示 ・水道使用水量のお知らせの裏面を活用したPR ・下水道の日施設見学会を拡大実施 ・下水道の日街頭啓発を拡大実施 ・KBS京都ラジオによるパネル展等のPR ・市政広報番組「京のまち(京の下水道探訪)」によるPR ・水道創設100周年記念事業について、セレモニー、イベント等の実施を決定 ・特別展開催(11月9日～12月5日)

IV-4 お客さま満足度の向上を目指した料金施策の推進

サービス水準の維持・向上を図りつつ、できる限り現行の安価な料金水準を維持していくことを基本として、財政状況を踏まえ、可能な限り、お客さまのご要望や利用実態に合わせたお客さま満足度の高い料金施策の展開に努めていきます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 多様な料金支払方法の導入検討	お客さまサービス推進室	・クレジットカード払い導入の検討	・他都市との情報交換を実施 ・他都市の取組状況調査の実施及び課題の検討
② 口座振替利用者へのサービス拡大	お客さまサービス推進室 各営業所	・口座勧奨取組の継続実施 ・口座振替利用者を対象としたサービスの検討	・口座普及率 81.9% ・開栓作業訪問時に、口座振替依頼書及びPRパンフレット等をまとめた「水道便利袋」をお渡しし、「早期の口座勧奨」を実施 ・開栓後3箇月時点において、納付制のお客さまに口座勧奨はがきを送付 ・他都市のサービス取組状況等についての調査を実施
③ 料金制度・料金体系の見直しの検討	総務課 お客さまサービス推進室	・料金制度、料金体系の見直しの検討	・他都市の料金制度・料金体系の調査を実施
④ 民間分譲マンションの水道メーター各戸検針・各戸徴収サービスの実施	お客さまサービス推進室 各営業所 給水課	・各戸検針・各戸徴収の制度構築及び申込受付の実施	・制度概要を設計 ・サービス開始に向けた準備作業の実施

IV-5 地域の皆さまや流域関係者とのパートナーシップの推進

地域の皆さまや上流・下流双方の流域関係者と共通の理念や目標を持ち、相互の情報交換、協働、連携を深めたパートナーシップによるさまざまな取組を進め、琵琶湖・淀川流域全体としての上下水道事業の充実と水質の維持・向上に努めます。

京都のまちの歴史的な財産である琵琶湖疏水の適切な維持管理に引き続き努めていきます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 流域における連携の推進	総務課 水道部管理課 水道部施設課 疏水事務所 水質第1課	・滋賀県等との情報交換会の相互開催	・滋賀県との情報交換会を実施 ・大津市との技術協議会を実施 (Ⅱ-4-⑥再掲)
	水質第1課 水質第2課	・淀川水質汚濁防止連絡協議会における活動の充実(Ⅱ-4-⑥再掲)	・淀川水質汚濁防止連絡協議会琵琶湖淀川生物障害等調査小委員会への参加 ・淀川水質汚濁防止連絡協議会河川水質機構調査小委員会への参加(2回)とメールによる情報交換(4回) (Ⅱ-4-⑥再掲)
	計画課 下水道部施設課	・大阪湾再生推進会議における活動の継続(Ⅱ-4-⑥再掲) ・高度処理基本計画の見直し(Ⅱ-1-①再掲)	・下水の高度処理の推進及び合流式下水道の改善等による放流負荷削減対策を実施 ・「大阪湾の企画展」への高度処理の推進に係るパネルの提供(事業PR) (Ⅱ-4-⑥再掲) ・高度処理基本計画の見直しを実施 (Ⅱ-1-①再掲)
② 水共生プランに基づく地域との連携	下水道部管理課 計画課 設計課 下水道建設事務所 下水道施設課	・アンケート結果を踏まえ改正した雨水貯留施設設置助成金制度を実施、利用促進(Ⅰ-4-④再掲) ・市民、事業者等との協働、連携事業の検討、実施	・雨水貯留施設設置助成金制度を改正 ・助成件数 156件 (Ⅰ-4-④再掲) ・水共生プランのPRを実施 ・アンケート集計結果を公表 ・水に関する支援制度を取りまとめたポスター、チラシを発行
③ 河川・防災部局等と連携した浸水対策や水環境の保全	下水道建設事務所 計画課 設計課 下水道部管理課 きた下水道管路管理センター	・久世高田調整池の実施 ・京都府桂川右岸流域雨水事業との連携事業の実施(Ⅰ-4-②再掲) ・下水道総合浸水対策緊急事業の実施(Ⅰ-4-③再掲) ・西高瀬川清流ルネッサンスⅡの推進(Ⅱ-2-④再掲)	・久世高田調整池築造工事継続実施 ・久世高田調整池雨水排水監視設備工事実施 (Ⅰ-4-②再掲) ・呑龍幹線への分水施設の実設計委託に向けた作業を実施 (Ⅰ-4-②再掲) ・御池1号接続支線(1)工事完了 ・塩小路幹線実施設計委託完了 (Ⅰ-4-③再掲) ・朱雀北幹線(1)工事継続実施 (Ⅱ-2-④再掲)
④ 下水道利用に関する啓発・指導	下水道部管理課 下水道施設課	・戸別訪問指導や啓発ピラの配布等による普及勧奨の推進(Ⅱ-3-③再掲) ・未接続理由を書面により確認(Ⅱ-3-③再掲) ・事業場排水の監視・指導の継続的な実施	・対象家屋全件について訪問普及勧奨を実施 (Ⅱ-3-③再掲) ・上下水道局改造義務違反行政措置審査会の審査結果の取りまとめの完了 (Ⅱ-3-③再掲) ・水質検査 2,331回 ・立入検査 1,783回
⑤ 琵琶湖疏水の適切な維持管理	水道部施設課 疏水事務所 水道部管理課	・水路開改修調査検討委員会の開催 ・散策路整備約300m	・水路開改修調査検討委員会の開催 ・哲学の道(洗心橋～上流約300m)散策路整備工事完了

V-1 経営環境の変化に対応した経営の効率化

公営企業としての存立基盤を堅持しつつ、外郭団体や退職職員の活用による技能継承を円滑に進め、可能な限り民間活力の導入に努めることにより、事業規模に応じた職員数の適正化を図るとともに、経営分析や評価を活用した効果的な経営管理に努めるなど、民間的な経営手法を積極的に導入して、最大限の効率化に努めます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 事業の効率化の推進	総務課 職員課 お客さまサービス推進室 水道部管理課 下水道部管理課	・第4期効率化推進計画及び企業改革プログラムによる職員予算定数の削減	・職員予算定数48人削減を実施
② 民間活力の導入の推進	お客さまサービス推進室 伏見営業所 総務課 水道部管理課 下水道部管理課	・伏見営業所の水道メーター点検業務を民間委託化(9営業所中6営業所の民間委託化) ・文書交換業務委託化に向けた検討 ・潜在漏水調査業務の民間委託	・伏見営業所の水道メーター点検業務(全域)の民間委託化 ・次年度委託化にかかる準備作業の実施 ・委託事業者の決定など ・業務開始に向けた準備完了 ・担当職員2名削減
③ 経営分析手法の充実や積極的な経営情報の開示	総務課 総務課	・より一層の経営情報開示の検討	・局ホームページにおいて、キャッシュフロー計算書を含む財務諸表を開示
④ 経営評価を活用したPDCAサイクルの確立	総務課	・評価結果を人事・組織・予算等に反映させる仕組みの確立 ・経営評価審議委員会の運営	・経営評価の公表、関係課への資料配布 ・経営評価審議委員会の開催(3回) ・経営評価等に関する意見を公表
⑤ 企業力向上のための組織改革の推進	総務課 職員課 各部・課	・組織改革の推進 ・組織全般にわたる業務執行体制の点検 ・組織目標の共有化	・22年度組織改正の実施(技術監理室の設置等) ・調査、ヒアリングの実施 ・調査結果に基づく組織課題の整理 ・21年度所属長マニフェスト最終検証実施 ・22年度所属長マニフェスト策定、中間検証実施、報告会開催
⑥ 業務の高度情報化の推進			
第2期高度情報化推進計画の随時見直し・各システム開発等の推進	総務課 システム所管課	・情報システムの整備、基盤環境の整備、ITガバナンスの向上 ・各システムの効率的・効果的な開発	・第2期高度情報化推進計画(行動計画2011)策定作業の実施 ・各課からのヒアリング完了
電子入札	用度課 総務課	・電子入札システムの導入推進	・事後確認型入札を一部実施
新料金システム	お客さまサービス推進室	・新料金システムの運用開始	・新料金システムの運用開始、システム開発作業を完了
各種システムとの連携	総務課 職員課 総務課 その他システム所管課	・制度改正に対応した人事給与システムの充実 ・電子帳票化の範囲拡大に向けての検討 ・文書主任会議の定期的開催	・平成22年度制度改正に対応したシステム改修の実施 ・電子化の妨げとなっている紙の添付文書について、省略や電子化等運用拡大の検討 ・文書主任会議を開催(4回)
情報セキュリティの向上	総務課	・情報システムサーバのデータセンターへの移設 ・データ暗号化システムの運用開始	・新料金システムサーバ(評価系環境)のデータセンターへの設置完了 ・運用開始
⑦ 地域水道事業と水道事業との統合	監理課 地域事業課 総務課 総務課 水道部管理課	・統合計画策定に向けての検討 ・地域水道の維持管理体制の検討	・統合計画策定及び水道料金統一に向けた課題を検討(ワーキンググループによる議論(2回)) ・地域水道の維持管理体制の課題を検討(ワーキンググループによる議論(2回))

V-2 持続可能な事業運営のための財務体質の強化

水需要に応じた施設規模の適正化により、維持管理費や建設再投資額を抑制し、市民の皆さまのライフラインを確実に守れるよう、公営企業としての存立基盤を堅持した財政の健全化を進めます。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 上下水道施設の規模の適正化による建設再投資額等の抑制	水道部各課 下水道部各課	・山ノ内ポンプ場整備準備工事及び整備工事の継続実施(Ⅲ-1-①再掲) ・雨天時下水処理施設の検討(Ⅲ-1-③再掲)	・準備工事完了、整備工事継続実施(Ⅲ-1-①再掲) ・水処理施設の一部を合流改善施設へ転用に向けた検討を実施(Ⅲ-1-③再掲)
② 水道・下水道工事におけるコストの縮減	監理課 総務課 水道部管理課 設計課	・京都市公共事業コスト構造改善プログラムに基づく取組の推進	・コスト構造改善率、上下水道局9.8%(前年度5.8%)、京都市全体9.2%(前年度5.7%)

③ 保有資産の有効活用			
未利用地の売却、有償貸付の推進	総務課	・保有資産有効活用検討委員会において有効活用可能な土地の活用方法の検討 ・有効活用のある土地等のリスト(報告書)の継続的な見直し	・保有資産有効活用検討委員会年次報告書の作成
効率的な資金管理、運用	経理課	・引き続き効率的な資金管理、運用に努める	・資金計画に基づき効率的な資金運用を実施
④ 突発事故や将来の負担に備えた運転資金の確保	経理課	・会計制度の改正に向けた引当金制度の検討	・会計制度の改正に向けた引当金制度の対応を検討
⑤ 水需要の喚起や新たな増収策の検討	総務課 お客さまサービス推進室 水道部管理課	・水需要喚起に向けた取組の推進 ・保有資産有効活用検討委員会での広告事業の検討及び実施 ・全市的な山ノ内浄水場廃止後の跡地活用方針案の検討	・ミスト装置設置による水道水のPR(京都国際マンガミュージアム、京都市動物園、市営地下鉄竹田駅、祇園祭山鉾巡行) ・海外水ビジネスに関する情報収集を実施 ・「平成22年度水に関する意識調査」の実施及び調査結果の分析(IV-3-④再掲) ・市内4箇所で、夏期街頭キャンペーンを実施 ・FMプロジェクトによる「京都やんちゃフェスタ」への参加及びチラシ・クリアファイルの作製 ・京都市営地下鉄にフロアシート、アドコラム、指詰め、横枠広告を掲出(IV-3-②再掲) ・今後実施する広告事業のための要件整理と広告掲載基準の改定の検討 ・山ノ内浄水場跡地活用の事業者選定のため価格調査を鑑定士に依頼して実施
⑥ 口座振替利用率の向上(IV-4-②再掲)			
⑦ 給与制度の点検・見直し	職員課	・継続的な給与、手当等の点検・見直し ・職員給与等の分かりやすい情報開示の更なる推進	・通勤手当等の適正な支給に係る調査の実施 ・ホームページ作成に合わせ他都市との人件費比較を実施 ・各種手当の見直しとして、主任・職長手当を廃止 ・職員給与等に係る局ホームページの更新
⑧ 企業債残高の削減	経理課	・企業債発行の抑制と繰上償還制度や借換制度など、国等の財政措置の活用	・平成23・24年度の補償金免除繰上償還に係る計画の国の承認手続の完了 ・平成23年度予算への計上

V-3 上下水道一体体制の効率的な事業運営

上下水道事業に共通する業務の共同化・集約化を図るとともに、両事業の会計の一体的な管理や、料金・財務の連結を推進し、一体的な経営を行います。
水道料金単価と下水道使用料単価を合わせて、大都市平均より安価な料金水準を維持します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 技術部門の執行体制の見直し	監理課 職員課 下水道部管理課 水道部管理課 給水課配水課 水道部施設課 計画課設計課 下水道建設事務所 下水道部施設課	・「技術研修実施計画」の策定・充実と技術継承の推進 ・工事施行に関する基準・要綱等の点検見直し ・技術評価や新しい入札契約制度への対応の検討 ・工事業務全般に係る適正な業務の執行確保に向けた技術監察員の設置 ・設計変更審査委員会の運用	・計画に基づく技術研修の実施 ・技術力継承発展推進部会における技術継承システムを検討 ・共通仕様書案の作成、関係課との調整 ・総合評価方式で実施した入札32件全てについて契約 ・技術監察員を設置 ・平成22年度労働安全研修を実施 ・設計変更運用マニュアルを作成作業の実施
② 水道・下水道の水質管理業務の一元化	水質第1課 水質第2課	・上下水道の共通テーマを対象とした調査研究の検討の実施	・上下水道に係る合同調査及び合同分析を実施
③ 上下水道会計の連結と一体的な財務運営の推進	経理課	・「地方公営企業会計制度改正」への対応について検討	・「地方公営企業会計制度改正」について情報収集 ・「平成23年度上下水道事業予定連結財務諸表」を作成し、市会に提出
④ 水道・下水道の料金の一体化の検討	総務課	・水道、下水道の料金一体化の検討	・他都市の料金制度・料金体系の調査を実施
⑤ 上下水道施設や事業所の共同利用の促進	水道部管理課 水道部施設課 各浄水場 水質第1課 計画課 下水道部施設課	・ろ過池洗浄排水の下水放流の整備(松ヶ崎浄水場) ・浄水汚泥圧送管整備工事(新山科浄水場)	・管路工事の契約完了 ・圧送管ルートを検討

V-4 人材の育成や技術の継承・発展と国際貢献の推進

上下水道事業に求められるサービス精神と経営感覚を持つ企業職員を育成します。
 上下水道事業の円滑かつ効率的な遂行のため、技術の継承・発展を目指した総合的な技術力の向上を実現していくとともに、将来を担う人材を育成します。

取組項目	担当課	平成22年度事業計画	平成22年度実施状況
① 職員の資質向上のための取組の推進	職員課 総務課	<ul style="list-style-type: none"> 「京都市上下水道局 人材育成基本方針 2009」に掲げた取組の着実な実施 お客さまサービス精神と企業経営感覚養成のための職員研修の充実 人事制度改革の検討、実施 新人事評価システムの試行実施 組織目標の共有化(V-1-⑤再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> 職員課内進捗管理体制の整備 各取組項目の推進 経営感覚養成講座を実施 市民対応能力養成講座を実施 一般職員への人事評価を試行実施 民間企業(大阪ガス株式会社京滋導管部)への派遣研修を実施(6名) 一般職員への人事評価を試行実施 21年度所属長マニフェスト最終検証実施 22年度所属長マニフェスト策定、中間検証実施、報告会開催(V-1-⑤再掲)
	職員課	<ul style="list-style-type: none"> 職員の服務規律に関する指導の実施 職場等における監察の実施 通報等に基づく監察の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 所属長ヒアリングを実施(82回) 全55職場を対象に服務監察を実施(447回) 32件、92回の通報等に基づく監察を実施
② 職員の能力発揮のための職場環境の整備	職員課	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスケアに係る取組の充実 保健師による健康相談の充実 定期健康診断の充実 安全衛生、健康管理の充実、働きやすい職場環境の実現 	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスケアに係る研修及び啓発の実施 随時実施 定期健康診断受診率98.7% 個別健康相談118件 集団保健指導3回実施 産業医職場巡視26箇所実施
③ 国際協力事業の推進と国際貢献を支える人材の育成	総務課 下水道部管理課 計画課 設計課	<ul style="list-style-type: none"> JICA章の根技術協力事業(新規)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 技術者派遣による西安市での研修実施(9日間、5名) 訪日技術研修生の受け入れ実施(10日間、4名)
④ 知識・経験や技術・技能の継承	職員課 監理課	<ul style="list-style-type: none"> 「技術研修実施計画」の策定・充実と技術継承の推進(V-3-①再掲) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画に基づく技術研修の実施 技術力継承発展推進部会における技術継承システムの検討(V-3-①再掲)